

# 足利風 -ashikaga-fu

2018  
4月号  
Vol. 55



Copyright © ashikaga.com

書：風喜人

## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* さくら変奏曲 \*

「拝啓サクラさく」(絵・黒田征太郎/文・日暮真三)という絵本を宮沢りえさんが朗読し感動をよんでいる。“散ることを知りながら、咲くことを恐れない”という心震わす美しい言葉。“桜の花が咲きました。あなたのいない春なのに。咲きました、咲きました。まるで怒っているように。わくわくわくわくと咲きました。”胸にしみる言葉と絵がいっぱいの美しい大人の絵本です。

可憐な桜の花に、日本人が背負わせてきた過酷な重荷(軍国主義美化の象徴も含めて)を、そろそろ解放すべきだと、歌人の水原紫苑が言っている。歌人たちは千年以上も、この3首に言い尽くされた“桜”への想いを変奏し続けたのだと～「世の中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし」(在原業平)～「花の色はうつりにけりないたづらに我が身世にふるながめせしまに」(小野小町)～「ねがはくは花の下にて春死なむそのきさらぎのもち月の頃」(西行)～しかし、2011年3月11日東日本大震災を機に、彼女の“桜”信仰は揺らいだ。



その春の花たちは、椿・堇・蒲公英など花の大小にかかわらず、みな天地の異変に反応し常よりも色鮮やかに叫ぶように咲いた。が、独り“桜”だけが何事も無かったかのように咲いた。彼女は、その“桜”の姿を美しいと感じられなかった。あまりにも非情に見えた、と語る。数年前に「八重の桜」という大河ドラマがあった。同志社創業者・新島襄にまつわる物語。群馬安中は新島の生地である。

その安中教会を新島から託されたのが、ニコニコ顔のソクラテスと評された柏木義円。私は学生時代から縁あって義円研究に関わりを持った。義円を支え守り抜いたのは、豆腐屋のオヤジや八百屋のオッカサンなどの庶民だった。義円の地域に根づいた活動は、現在でも私たちに、ボランティア活動の原点を教えてくれている。

(M生)

## \* 「四国八十八ヶ所巡礼入門」大好評！ \*

平成30年1月10日(水)午後、足利市民活動センター3Fでの、なんでも相談室「四国八十八ヶ所巡礼入門」は、木村 寛さんの名案内で、参加者のみなさんも大満足の集いとなりました。会場には山口千二さん作の88体の奉納地蔵も飾られ、木村さんが巡礼された際の88ヶ寺の御朱印の描かれた白法被なども披露されました。お太師さんとの同行二人の霊場が固定したのは室町末期から江戸初期にかけてと言われており、現在でもお遍路さんは絶えません。近場での関東三十三観音巡りの話も出て、次回への期待も高まりました。

## \* お遍路のすすめ～おせったいの心につつまれて～ \*

～木村 寛～



四国八十八ヶ所霊場が、弘法大師(空海)によって開場されて1200年。  
この記念すべき年に、お遍路の旅を体験しました。

とは言っても、約1400キロメートルの道を歩いて巡るのは、時間的・体力的にとっても無理でしたので、仕事がなくなったのを機会に、飛行機とツアーバスによる全周十三泊十四日のお遍路の旅に出ることができました。バスなら楽でいいなと思っていたのですが、実際に参加してみると、巡るお寺は山の上、崖の近くなど、階段の登り降りや参道を歩かねばならず、私の歩数計で一日約一万歩ほどありました。できるだけ、歩くことに自信のあるうちに巡ることをおすすめします。



私の場合、約30人の団体で、ご夫婦での参加は2・3組で、他はお一人様、そのうち女性が約20人ほどでした。

宿泊は、お寺の宿坊・善根宿・ホテルなどで、昼は禁酒で、和・洋食、ご当地グルメなどが、上手く手配されていて安心です。お一人様が多く、バスの中、同室などで、いろいろな参加目的の方々と交流でき有意義でした。

結願の大窪寺、高野山での報告では、巡り終えたという、すがすがしい気持ちと達成感を忘れることができません。お遍路で、地元の人々の「おせったい」を受けた体験も私にとって貴重なものです。

お遍路には、観音菩薩の霊場巡りもあります。

各旅行会社も説明会を開いているようです。

ご興味のある方は、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

## \* いいね！プロジェクト推進委員会 \*

コスプレやご当地キャラクターなどを使用してイベントなどを地域活性化活動とリンクさせています。

サブカルチャーと呼ばれる若者文化と地域や国の伝統文化を融合させて世代を通したコミュニティを創造しています。

古民家を利用したコスプレ撮影、足利学校や鑿阿寺、織姫神社、足利銘仙、ご当地グルメなどの観光資源をブラウザゲームなどを利用して全国へ発信PRしています。

## ① インフォメーション ①

### ☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。  
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、  
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。  
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★4月20日(金) PM2:00～4:00

- \* 本 : 「徒然草」(吉田兼好)
- \* 案内人 : 日下部 悲天さん
- \* ひとつこと : 鎌倉時代末期に吉田(卜部)兼好法師によって書かれたエッセー集が、300年後の江戸時代になってから反響を呼び、現代まで読み継がれる古典のひとつです。アップルのスティーブ・ジョブズも愛読したということで話題にもなりました。みなさんともう一度!

★5月12日(土) AM10:00～12:00

- \* 本 : 「他力～TARIKI」(五木寛之)
- \* 案内人 : 鈴木 光尚さん
- \* ひとつこと : 思想というものは身体に沁みる親しさで語られてこそ他者の土壌で芽をふくと言われます。五木さんご自身の過酷な人生経験(出口なき闇の時代)にキラリと光る、生老病死に対峙する深い思想であり、すさまじいパワーを秘めた生きる力＝「他力」の世界をご一緒に!

■会場:足利市民活動センター

■参加費:無料

■お問い合わせ・事務局:足利市民活動センター ☎44-7311

### \* センターからのご案内 \*

#### ☆みんなの広場 ～ 4月・5月のご案内 ～

- \* 男浅間山写真展 4月 2日(月)～12日(木)
- \* 書展～わたらせの風 4月16日(月)～26日(木)
- \* 地蔵・仏像の木彫展 5月 1日(火)～17日(木)
- \* 四季の彩り 風景写真展 5月21日(月)～31日(木)

#### ☆相談室&講座のご案内

- \* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- \* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

#### \* 編集後記 \*

この冬、北海道旅行へ行ったのだが、話で聞いていた以上にアジアからの観光客でいっぱいだった。これから東京オリンピックに向け、ますます国際化するのであろう。道を尋ねられた時、スマートに受け答え出来たらいいなとは思うのだが、ボディランゲージでなんとか押し通してみよう。為せば成る。  
(しおぱん)